

(様式3)

## 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成24年8月22日

### 【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	0873900385		
法人名	社会福祉法人 聖隷会		
事業所名	グループホーム 千代田の里	ユニット名	たんぽぽ
所在地	〒315-0072 茨城県かすみがうら市東野寺495-1		
自己評価作成日	平成24年1月6日	評価結果 市町村受理日	平成24年8月16日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報 リンク先URL	<a href="http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=0873900385&amp;SCD=320&amp;PCD=08">http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=0873900385&amp;SCD=320&amp;PCD=08</a>
-----------------	---

### 【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	社会福祉法人茨城県社会福祉協議会		
所在地	〒310-8586 水戸市千波町1918番地 茨城県総合福祉会館内		
訪問調査日	平成24年3月15日	評価確定日	平成24年8月7日

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

都市化の進行と、自然豊かな環境を併せ持つ地域の中で、開設以来10年が過ぎようとしている中で、市民の皆様にも存在を認識されてきております。入所者様やご家族様にも喜んでいただいております。法人傘下には特別養護老人ホームも多数あり、希望に応じたサービスを提供出来るようになっておりますし、グループホームも多数あり、お互いに切磋琢磨しサービスの向上を目指しております。関連施設には医療法人もあり、医療に関する相談指導が何時でも受けられる体制が整っております。特に精神医療の専門医師がおり専門的な医療相談が受けられます。又隣接地には医療法人の介護老人福祉施設や保育園があります。保育園との交流や園児が園庭で過ごす姿が毎日見られますので家庭生活の延長のようであります。職員の定着率・学習意欲も高く献身的な介護に努めております。市内には数多くのグループホームが存在しておりますが、入所希望者様に気軽に立ち寄り、希望が叶えられる施設、地域の皆様選ばれる施設にして参りたいと考えております。

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

同一法人の保育園や介護老人保健施設が隣接し、緑が多く静かに生活ができる地域に立地している。

利用者は地域の敬老会に参加したり、地域の文化祭に編み物などの個人の作品や利用者が共同で作った作品を出展しているほか、地域の小学校の運動会を見学し「玉手箱」の競技に参加したり、同一法人の保育園の運動会を見学している。

保育園児が来訪し遊戯や合唱を披露しており、職員は地域との交流を図ることで利用者が地域の一員であることを意識できるよう取り組んでいる。

運営母体が病院で、利用者の病状や健康管理など医療に関する相談がいつでもできるため、利用者や家族等の安心につながっている。

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	基本理念と、ホーム運営規定を掲げ実践する為に、利用者がその人らしく暮らしていける様利用者に向けて、何を成すべきかを考え全員で共有してし実行している。	人権の尊重、個人ケア、社会交流の3つを軸に地域密着型サービスの意義を踏まえた基本理念を作成し、各ユニットの玄関や事務室に掲示するとともに、職員は朝礼時に唱和し、共有しながら実践している。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	隣接する保育園の園児との交流、小学校の運動会や文化祭、市の敬老会、地域のお祭りに参加している。ホームの行事に地域の方に参加を呼びかけたり、日曜日には道路の清掃作業を行う事により、地域の一員になれるように努めています。	隣接する同一法人の幼稚園児が月2回事業所に来訪し、遊戯や合唱などを披露してくれるほか、利用者は保育園の運動会や夕涼み会、地域の小学校の運動会に招待を受け、小学校の運動会では「玉手箱」の競技に参加している。 市の芸術祭に利用者の個人作品や団体での作品を出展し見学しているほか、敬老会に参加している。 事業所の敬老会に区長や民生委員、保育園児、家族等を招待し、地域と交流を図っている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げていく認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進会議や、介護相談委員さんを通じて、地域の方々の理解を戴き、介護相談等の地域貢献をして参ります。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	会議において、利用者の生活状況や行事の報告をし、委員の方より助言を戴きサービスに努めます。	運営推進会議は利用者や家族等、市職員、民生委員、同一法人の保育園の園長で開催しているが、23年度は2回のみで開催であり、2ヶ月に1回開催するまでには至っていない。 家族等や市職員、地域住民の代表が欠席する場合があります、全委員の参加を得て開催するまでには至っていない。 会議で出た意見等をサービスの質の向上に活かしており、事業所の行事であるミニ遠足の開催時期について、夏は暑いので時期をずらしてはどうかとの委員の意見を受けて管理者や職員で検討し、利用者の体調や気候を考慮して実施時期を変更している。	運営推進会議は2ヶ月に1回開催するとともに、年間の開催計画を早めに委員に周知するなど、全員の参加が得られるよう工夫することを期待する。

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	必要に応じて相談をし、随時連絡を取り合っている。	管理者は要介護認定更新の申請などで毎週市役所に出かけており、市担当者に事業所の空き情報などを伝えている。 生活保護を受給している利用者があることから、市担当者が状況調査に来訪し、利用者との面談を行っている。 市の介護相談員が月に1回来訪している。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束についての研修を行い、全職員が正しく理解できるように努めると共に、ケアの実践に取り組んでいる。	身体拘束をしないケアを目指し、不定期だが法人全体で身体拘束廃止に向けたマニュアルを基に研修を実施している。 介護支援専門員が外部研修で学んだ内容を朝礼や終礼、申し送りノートを通して全職員に周知しているが、内部研修を行うまでには至っていない。 やむを得ず身体拘束をする場合には、身体拘束の必要性についてユニット毎のカンファレンスで定期的に話し合うとともに、家族等に口頭で説明しケース記録に経過を記録しているが、書面で家族等の同意を得たり経過観察記録などの書類を整備するまでには至っていない。 玄関は夜間のみ施錠しているが日中は施錠せず、玄関や各ユニットへの通路にチャイムを設置して自由に行き来ができるようにしている。	身体拘束を行うにあたり家族等の同意書や経過観察記録などの書類を整備するとともに、身体拘束廃止に向けて法人研修や外部研修の受講者を中心に内部研修を行い、全職員の理解が深まるよう取り組むことを期待する。
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	利用者が安心して生活をして頂けるように、入浴、トイレ介助等でボディチェックを行い注意すると共に、日々虐待防止に努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	傘下法人で、権利擁護等に関する講習会を行っております。市役所等からも情報を戴き権利擁護が守られるように対応して参ります。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得  契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	利用者・家族に、重要事項説明書等を口頭で分かり易く説明し、納得の上で契約していただいている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映  利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	第三者委員会を設けたり、窓口にご意見を頂くコーナーを設置したり、利用者が日頃望んでいる事を引き出せるようにした対応をしています。	職員は日頃から利用者の話を聴くよう努めているほか、家族等の来訪が多いことから来訪時に意見や要望を聴き、出た意見等を運営に反映させている。 意見箱を設置しているほか、重要事項説明書に事業所や第三者機関の苦情相談受付窓口と第三者委員を明記するとともに玄関に掲示し、意見が出し易くなるよう取り組んでいる。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映  代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月の職員会議や、ユニットごとの会議により、意見交換を行い、提案された意見の検討により運営に役立てて参ります。	月1回職員会議を開催し、通院の方法や誕生会、避難訓練の開催方法等について話し合っているほか、月1回ユニット会議を開催し、職員の意見を聞く機会を設けている。 管理者は職員から出たカラオケ機購入の提案や壊れた洗濯機の買い替えの要望を受け、すぐに運営に反映させている。	
12		○就業環境の整備  代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	就業規則、給与規定により就業環境の整備に努め、働きやすい職場造りに努力しております。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人内には、研修委員会が設置されており、それぞれの段階に応じた研修を受講しております。施設内においても随時勉強会を開催し相互の研鑽に努めております。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	グループホーム協議会の研修会に参加し、他の施設の方々との交流を通じて、研鑽を図り資質の向上を目指しております。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	受容、傾聴、共感を忘れずに、利用者の面接で困りごと等の把握に努めております。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族の気持ちを思いやり、これまでの介護の労をねぎらいながら面接に望みます。現状や困りごとを把握し、利用者様にも施設を見学して頂くことにより、不安な気持ちを取り除くようにしております。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	利用前の面接時に、今何が必要か優先順位を予め決め、必要な事から対応しております。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	昔からの風習や行事を、日常生活の中に取り入れることや、会話の中から教えていただく事が多だあり、感謝の気持ちを素直に伝えております。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	普段の会話の中で、昔からの風習や行事など利用者から教えてもらう。又昔話に共感したりしています。利用者と共に協働しながら和やかな生活が送れるように努めております。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	家族の理解と協力を得て、継続できるように支援しています。	利用者の近所に住んでいた方が月2回から3回面会に来ている。 面会の少ない利用者の方は事業所から家族等に電話をして状況を伝え、来訪してもらうように依頼している。 新たに利用者の馴染みの人や場所の情報を得た場合は、全職員で共有できるように記録に残している。 職員は病院受診の際に利用者の自宅の近くを通ったり、自宅を見てくれるように支援しているほか、家族等や職員の付き添いで、行きつけの理・美容院や馴染みの店に行けるように支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	散歩やクラブ活動を通して、会話しながら利用者同士が支えあえるように支援しております。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退所後、病院等に入院・入所されても施設訪問をし、相談事があれば相談に応じるようにしております。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日々の会話や関わりの中から、一人ひとりの思いや意向を把握すると共に、利用者の視点に立って意見を出し合い討議をしています。	職員はお茶の時間や入浴時間など、利用者がのんびりできる時間に個別に話を聴くようにしている。 自ら思いを言いたがらない利用者が病院受診の際に医師に話すことがあり、付き添った職員が話したことを申し送りノートに記入するとともに、朝礼時や終礼時で報告して全職員で共有するほか、カンファレンスでも話し合い介護計画にも反映させている。	
24		○これまでの暮らしの把握  一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入所前に事前調査を行い、病歴や生活歴の把握をするために情報の収集をしています。又、日々の会話の中で以前の生活についての会話をし情報を得ています。		
25		○暮らしの現状の把握  一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一人ひとりの生活状況を見ながら、日々を有意義に過ごせるように努めております。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング  本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	サービス担当者会議を開催し、利用者ご家族や本人の意向を踏まえて、職員の意見等を取り入れた介護計画を作成している。作成した介護計画を家族に確認して頂き、同意を頂いております。	家族等の来訪時にカンファレンスを開催し、利用者の身体状況について利用者や家族等を交えて話し合っって介護計画を作成するとともに、6ヶ月毎にモニタリングを実施している。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別記録を作成し、心身の状態、行動を記録し、介護計画の見直しに活かしております。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	通院介助等、そのときに応じた多様なサービスに努めております。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域の基幹、例えば民生委員やボランティア、警察、消防、文化、教育機関などは、必要に応じて協力が得られております。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	医療機関から、既往病歴等の情報を得ている。本人や家族の意見等を聞き、継続して医療が受けられるよう支援している。又、希望に応じて歯科・眼科の訪問医療が受けられるよう支援体制が出来ている。	入居時にこれまでのかかりつけ医を主治医にするか、運営母体の医療機関の医師を主治医にするかを利用者や家族等と相談している。受診は基本的に家族等の付き添いとなっているが、希望があれば職員が付き添っている。家族等が受診に付き添う場合は利用者の状態を記載したメモを家族等に渡し、主治医に伝えるようにしている。受診結果や次回受診日を家族等から聞き、申し送りノートや観察記録に記載して職員で共有している。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	かかりつけ病院・協力病院と連携し相談をしたり、日々の健康管理に努めながら、受診や処置をして頂いております。		



☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時には、日々の生活状況を説明し、入院中は様子を見に伺い、本人、家族、医療機関との話し合いのうえで対応しております。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	家族、医療機関関係者を含めて話し合い、方針を決め状態に合わせた対応をしております。	事業所は看取りを行う方針で看取りに関する指針や同意書などの書類を整備するとともに契約時に利用者や家族等に説明しているが、書面で同意を得るまでには至っていない。 重度化や終末期の対応マニュアルを作成したり、研修を実施するまでには至っていない。 事業所は看取りの経験はないが、利用者が重度化した場合は利用者や家族等の意向にそって主治医と電話で連絡を取りながら、できる限りの支援をしている。	契約時に事業所の看取りに関する指針を説明した際には、書面で利用者や家族等の同意を得ることを期待する。 重度化や終末期の対応マニュアルを作成するとともに研修を行い、全職員の理解を図ることを期待する。
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	法人において、上級救命講習会を全職員が受講し、AEDの取り扱い技能を修得しております。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回消防署の協力を得て、消火・避難訓練を実施しております。又毎月避難誘導訓練を実施しております。災害時等に地域の皆様の協力が頂ける様に消防団に協力を依頼しております。	天気が悪い時以外は毎月避難訓練を実施している。 避難訓練の実施記録を作成するとともに課題を話し合っているが、避難訓練に近隣住民の参加を得るまでには至っていない。 米や粥、乾パンなどを備蓄しているが、備蓄品のリストを作成するまでには至っていない。 非常災害時に運営母体が管理している備蓄品から物資が届くことになっているが、事業所には本部の備蓄品のリストが無いため、どのような物があるのか把握するまでには至っていない。 緊急連絡網を事務所内に掲示している。	運営推進会議で区長などの委員と話し合い、近隣住民の避難訓練への参加や協力体制の構築に向けて取り組むことを期待する。 災害時に本部から物資が届かないことも想定し、事業所独自に十分な備蓄品を確保したり、リストを作成して適切に管理することを期待する。

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	一人ひとりのペースに合わせた声掛け傾聴をしている。又、個人情報の取り扱いには十分注意をしています。	契約時に利用者や家族等から個人情報使用の同意を得ている。 プライバシー保護マニュアルがあり、いつでも閲覧できるようにしているほか、管理者による研修を実施している。 個人情報の管理の重要性を管理者や介護支援専門員が会議で職員に説明している。 個人情報に関する書類は、事務所の鍵のかかる棚に保管している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	利用者が理解できるような話し方で、思いや希望が叶うように支援しております。		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	職員の都合で行動するのではなく、利用者のペースに合わせた過ごし方を支援しております。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	その人らしい身だしなみができる様に支援しております。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	食事を一緒にしながら、食べ方の混乱や、食べこぼし等に対するサポートをさり気なく行い、又、食事の準備や片付けも行っていただいております。	職員は栄養バランスに配慮した献立にそって調理している。 利用者の身体機能の低下により、年々調理ができる利用者が減っているが、下膳などは行っている。 家族等に梅干や鮭フレーク、佃のりなどを持って来てもらい、利用者が嫌いな献立の時に代用している。 職員は利用者と同じテーブルに着き一緒に食事をしているが、弁当を持参しており、利用者と同じ献立の食事を摂るまでには至っていない。	職員は検食ではなく、利用者と同じ献立の食事を摂るような体制を整えることを期待する。
41		○栄養摂取や水分確保の支援  食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	献立等は、委託した栄養士により管理されており、医師の指示や、本人の希望も取り入れた、個々に合わせた形態になっております。摂取量はアセスメントシートに記録しております。		
42		○口腔内の清潔保持  口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食後のうがいを進めております。出来ない方や不十分な方は介助にて行っております。入れ歯を使用している方は毎晩洗浄をしております。		
43	16	○排泄の自立支援  排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄記録や、アセスメントシートを活用し、個々の状況を把握し、羞恥心に配慮した声掛けや介助を行っております。オムツを利用しているもトイレ利用を促し、排泄の自立に向けた支援をしております。	職員は利用者の個人ファイルに水分摂取量や排泄回数、排泄時間を記載し、排泄パターンの把握に努めている。 職員は利用者の自尊心に配慮しながらトイレ誘導を行っており、出なくてもトイレ誘導し、決まった時間にトイレにこまめに行くことで紙おむつ使用から紙パンツ使用に改善した利用者が多く、紙パンツ使用を目標にケアをしている。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分の不足に注意し、散歩などを通して、身体を動かすように声かけをしております。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	一人ひとりの体調や希望に応じた入浴の支援をしております。入浴記録票を活用し入浴拒否者への対応や、体調不良時の清拭等個別に対応しております。又入浴剤を活用し、気持ちよく入浴して頂けるように心がけております。	利用者の希望にそって毎日でも入浴ができるよう支援している。 重度の利用者については、利用者の意志を確認することは困難だが、清潔保持を図るために1日おきの入浴を支援している。 入浴を嫌がる利用者には職員が時間をおいて交代で声かけをし、入浴ができるように支援している。 入浴剤や利用者の気に入っているシャンプーを利用するなど、入浴が楽しめるよう工夫している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	昼夜逆転をしないように注意し、夜間にぐっすり休んでいただけるよう工夫しております。一人ひとりの状況に合わせて、安心して気持ちよく過ごせるよう支援しております。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	職員が手渡しし、服薬の確認を行っております。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	利用者の出来ること、興味や趣味を活かした支援をしております。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	天気の良い日には、散歩をするなど外気欲を行っております。季節ごとのお花見やドライブ、地域のお祭り等季節に合わせた行事に参加しております。	年間行事計画を立て、利用者が2ヶ月に1回外出ができるよう支援している。 ユニット毎に桜や梅など季節の花を見に出かけており、ドライブを兼ねて花見をしたり、利用者の負担にならないよう長時間の外出は避けるなどの配慮をしている。 利用者は天気の良い日は敷地内を散歩し、敷地内にある同一法人の老人保健施設の利用者とベンチで会話を楽しんでいる。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	希望に応じて、一緒に買物をするこ とで対応しております。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	本人からの要請で対応しております。自ら対応できない方は、職員が代行しております。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	隣接している保育園の園庭を囲むように建物が3棟配置され、どのユニットのリビングからも園児の遊ぶ姿が見る事が出来、利用者の目を楽しませている。又花壇には季節ごとに草花が栽培されております。リビングには利用者の写真や、クラブ活動の作品が展示されています。	居間から見える花壇に季節の花を植え、利用者が眺めて楽しめるようにしている。 共用空間に窓を多く設置し、自然光を沢山取り入れて明るくなるよう設計している。 廊下は広く車いす同士がすれ違うことが可能であるほか、手すりを設置している。 居間にはソファやテレビ、椅子、テーブルを配置しているほかカラオケを設置しており、利用者は自由に利用している。 ユニット毎に異なる手作りのお雛様を飾ったり、利用者が制作した絵画や編み物などの作品を飾り、季節感や生活感を取り入れている。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり  共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	日当たりが良く、園児の遊ぶ姿など外の風景が良く見えます。個室も自由に使えますし、リビングにはテレビやソファが自由に使えるように配慮されています。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮  居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者や家族と相談し、自宅で使用していた物を置くなど安心して生活出来る様にしております。その人らしい居室造りに心がけております。	家族等の希望を受けて利用者が落ち着くように自宅と同じ向きに布団を敷いたり、使い慣れたタンスや炬燵、座椅子などを持ち込んでもらい、利用者が落ち着いて過ごせるよう配慮している。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり  建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	ホーム内はバリアフリーで、各所に手摺が設置されております。又利用者一人ひとりが自立した生活出来る様配慮しております。		

V アウトカム項目		
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○ 1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3, 利用者の1/3くらいの 4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○ 1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3, たまにある 4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○ 1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3, 家族の1/3くらいと 4, ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○ 1, ほぼ毎日のように 2, 数日に1回程度ある 3, たまに 4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○ 1, 大いに増えている 2, 少しずつ増えている 3, あまり増えていない 4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○ 1, ほぼ全ての職員が 2, 職員の2/3くらいが 3, 職員の1/3くらいが 4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○ 1, ほぼ全ての家族等が 2, 家族等の2/3くらいが 3, 家族等の1/3くらいが 4, ほとんどいない



(様式4)

## 目 標 達 成 計 画

事業所名 グループホーム千代田の里

作成日 平成24年8月12日

### 【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議の定期開催	年6回の定期開催	年間開催計画の作成と周知	早急に
2	6	身体拘束をしないケアの実践	家族の同意と職員研修	拘束廃止に向けた研修会の開催	早急に
3	35	災害対策	近隣者の避難訓練への参加要請	消防署等との打ち合わせの開催	早急に
4	33	終末期等に向けた方針	終末期まで入所希望家族との看取り指針の説明と同意書の締結		早急に
5	40	食事を楽しむための支援	昼食時にも同じ献立の食事を		検討したい

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。